

優しい風の吹く街

第22号 2009年 1月発行



新しい年がスタートしました。昨年は、子どもが一人の人間として尊重され、いきいきと成長していくことが大切にされるまちに！！として「宝塚市子ども条例」がつけられました。しかし、子どもたちを取巻く環境は、学力にも経済格差などの社会要因が影を落とすなど大変厳しいものがあります。私は今年も「子どもに優しいまち」「高齢者・しょうがいのある人とともに生きるまち」めざして活動していきます。市民のみなさまのご意見もお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。

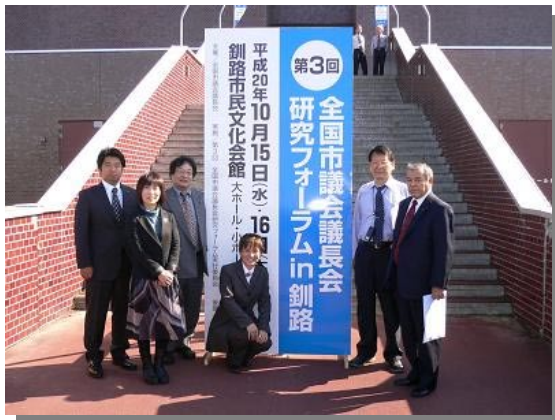


活動報告～抜粋～

10月

- 1日 文教生活常任委員会
- 8日 9月議会本会議
- 9日 女性議員の研修会「リボンの会」

14～17日 全国市議会議長会研究フォーラム
(釧路・根室)



左から、伊福、寺本、近石、北野、小山、金岡議員
(市民ネット宝塚)

- 18日 「慰安婦」問題の立法解決学習会(豊中)
- 20日 上下水道事業審議会
- 23～28日 決算特別委員会
- 26日 キャピリンピック
- 31日 国際社会で活躍する人材養成特別プログラム
(立命館大)

11月

- 1日 心の教育講演会
- 5日 宝塚映画祭
- 6日 宝塚市立男女共同参画センター20周年記念講演会

- 8～9日 ひょうご教育フェスティバル(明石)
- 11日 ようこそ先輩・英真なおきさん授業(西山小)
- 12日 環境調査特別委員会
- 13日 市立病院に関する特別委員会
- 15日 子ども支援学シンポジウム(金蘭千里大)
- 18日 議会研修会
- 19日 阪神網の目教育要請行動
- 20日 市議会本会議
- 23日 多民族共生教育フォーラム(大阪)
- 28日 男女共同参画センター20年の歩みとこれから
- 29日 みずおか俊一はげます会女性の会
- 30日 男女共同参画フェスティバル学習会

12月

- 1日 市立病院に関する特別委員会視察(伊丹・川西・三田)
- 2～18日 定例12月市議会
- 7日 自治会設立加入説明会・意見交換会
- 13日 連合兵庫もちつきフェア(神戸)
- 15日 市立病院に関する特別委員会



11/16 だんじり保存会設立記念祝賀会

1. 子ども支援と子どもの権利について

①「宝塚市子ども条例」の周知と学習はどのように行われてきたのか。

②条例をもとに、その精神を生かし、どのような「子どもの人権を守るとりくみ」が行われてきたのか？

〈市長答弁〉

①子どもが主役の子どもだけの街「ミニたからづか」、子ども向けホームページ「たからづかキッズ」等を通じて周知と学習の機会を提供。また、子ども向けの啓発パンフレットを作成し、市内の公立私立小学校4年から高校3年生に配布。子ども議会では事前学習のワークショップに取り入れている。

〈教育長答弁〉

②市内9校の小・中学校に児童・生徒支援教員を配置。人権教育においては、体験的な活動を取り入れながら実施している。



「一人の人間として尊重されている」と子どもたち一人一人が実感できる学校であってほしい。教職員の人権研修の再構築と、人権教育のさらなる充実を強く要望する。

③「子ども専用ダイヤル」の活用実態は。さらに子どもが安心してSOSを出せるようにするため、メールでの相談を受けられるようにしてはどうか。

④デートDVへの理解を深め、未来のDV被害者・加害者を生まないための教育の必要性について見解を。

〈二次質問〉

子どもの人権を守る専門機関としての「川西市こどもオンブズパーソン制度」に学ぶべき宝塚市の今後の方向性は見出せないか。

〈教育長答弁〉

③悩みを打ち明けることで、気持ちが落ち着く子どもも多く、継続的に電話をしてくる子どもが多い。中には虐待やいじめなど深刻で早急な対応を要する相談もあり、解決に向けて具体的な対応をしている。子どもたちが相談しやすい窓口にするために、メール等による相談の受け付け等についても研究していく。

④生命の大切さの指導を基に、性に関する基礎・基本的な内容を正しく理解させるとともに、直面する性に関する諸問題に対して、適切な意思決定や行動選択ができるように性教育に取り組んでいく。

〈二次質問・副市長答弁〉

川西市の状況も参考にしながら子どもの権利擁護の確立により一層工夫を凝らしていく。

2. 人材確保について

①非正規職員への研修によるスキルアップの機会が乏しいなど、非正規職員の待遇は、置き去りにされているのではないか。

②すべての職員が、やりがいや意欲をもって働くことのできる環境づくりへの取り組みの方向性は。

〈市長答弁〉

①専門的な知識と市民サービスの向上に向けて、各職場において研修会を実施している。

②自己啓発を推進し、研修等の機会を設け、仕事を通じて意欲の向上を図っていく必要がある。活力に満ちた職場風土の醸成ができるよう取り組んでいく。

3. すべての子どもに公平な医療を保障する施策について

①医療を受けられない「無保険」の子ども
の現状は。

〈市長答弁〉

①宝塚市では、子どものいる世帯には10割負担をしなければならない「資格証明書」ではなく、「短期保険証」の発行で配慮している。市税収納課とも連携を図り、生活実態や特別な事情の有無の把握も適切に行っている。

要望

いずれにしても、保険証がなくて困るのは、高齢者や他の家族も同じである。保険料を払えない世帯には、支払いを減免する制度をきちんと機能させることが、本質的な解決策ではないか。

民主党では、11月27日に、社民党・国民新党と共同で、「無保険」の子どもを救済する法案（国保無保険児童救済法案）を、衆議院に提出した。国や自治体は、誰もがひとりの人間として医療を受けられる権利を保障するべきで、とりわけ子どものいる世帯に対する、これらの施策のさらなる充実を要望する。



決算特別委員会 第2日

4. 「学力」と「全国学力・学習状況調査」について

①平均正答率公表に関する見解は。

②「宝塚市の子どもたちの学力向上について」を今後どう活かしていくのか。

〈教育長答弁〉

①本調査により特定できるのは学力の一部で、学校における教育活動の一側面にすぎないことなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮して取り扱うものとすると言われ、県も同様。本市においても平均正答率公表は行わないこととした。

②子どもたちの学習意欲の向上と学習習慣の定着をめざして、学校、家庭、地域が一層連携できるように支援していく。



要望



〈パンフレット配布について〉

今回市教委作成の学力テスト結果分析については、ホームページ公表を急ぐあまり、カラー版で作成し、発注したパンフレットの出来上がりを待つことなく、保護者・子どもには急ごしらえの白黒プリントで配布された。私はこの点について質問したが、その理由は明らかではなく、学校現場からの不信感も残った。「指導の工夫改善に生かす」という目的達成のためにも、学校現場の信頼を取り戻すことが必要である。

二次質問

③教育長の「学力」のとらえかたと、教育長としての抱負をお聞かせいただきたい。

〈教育長答弁〉

学力とは生きる力を育成すること。確かな学力、豊かな人間性、そして健康・体力を、バランスよく育てていくことが大切。

教育現場とのコミュニケーション、あるいは子どもたちの視点といったものを大切にしながら、明日の宝塚をつくる心豊かな人づくりという基本方針に基づいて全力を尽くす。

活動トピックス

2008/11/01

《市民ネット宝塚 第12回「駅前議会」開催！》



1. 開会と議員紹介
 2. 挨拶『駅前議会』趣旨説明
 3. 9月議会報告
 - ①概要
 - ②宝塚市立病院の現状と課題
 - ③駅前商業ビル（アピア）の再々開発をめぐる問題
 4. 議会改革について
 5. トークタイム
- 各項目ごとにたくさんの質問や意見が出て、よい交流の機会とすることができました。ありがとうございました。



～風のココロ～

宝塚市からも十数人が通学している「尼崎朝鮮初中級学校」の視察。狭い運動場、33年前に建てられた古い校舎・・・修繕も思うようにできないとか。

「この子たちに少しでもよい教育環境を！！」と訴えるオモニたちの涙に、精一杯応えるために議会で頑張っていきたい！

～ともに生きよう
この街で～

第12回
たからづか民族まつり



2008/11/04

《宝塚市退職教職員の会「秋の催し」》

～岡山県高梁市バスツアー



◆吹屋小学校

明治33年から44年にかけて建築され、使用している木造校舎として日本一古いものです。ほぼ、1世紀を子どもたちとともに生きています。現在の在校生は8名だそうです。授業中の子ども達には会えませんでした。まわりの山々に抱かれた校舎はなんともいえず懐かしい雰囲気、気持ちが安らぎました。

2008/10/19

《ピンクリボン・スマイルウォーク 2008 神戸大会》



ピンクリボンは、乳がんの早期発見の大切さを伝えるシンボルマークです。

◇発行人◇ 北野さと子

◇連絡先◇

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>